

評価番号	第 15-A-001 号	技術の名称	スプリッツアンカー工法
技術の種類	一般技術	依頼者	日特建設株式会社

技術の特徴	
-------	--

スプリッツアンカー工法は、2枚羽根形状の拡径ビットを使用した拡径型アンカーである。φ800mm（標準）の大きな定着体を実現する事により（図 1-1）、大きな周面摩擦抵抗に加え、拡径面での支圧抵抗を付加する事が可能となり、堅固な土質が存在しない地質条件や、背後に建築物や用地境界が存在するなどといった、従来のアンカー工法の適用が困難であった場所においてもグラウンドアンカーの適用範囲の拡大を可能とする工法である。

岸壁・護岸の様な漁港施設においては、上記の制約が発生する事が多く予想され、スプリッツアンカー工法の適用の範囲が拡大される

スプリッツアンカーは以下のような特徴を有する。

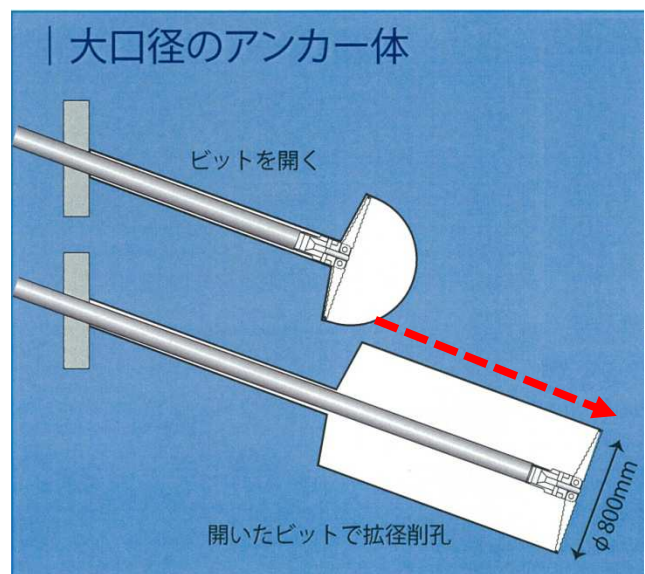
① 大口径のアンカー体を造成することにより、摩擦抵抗と支圧抵抗が発揮され大きな引抜き抵抗力を得られる。

② 大きな抵抗力を得られるので、従来定着できなかった強度の小さい土砂地盤でもアンカーの定着が可能である。

③ 強度の小さい（摩擦抵抗の小さい）地盤に定着できるので、従来型アンカーより自由長を短くできる場合がある。

上記理由により、アンカーを短くできるので、用地境界の近い場所でもアンカーの打設が可能。

④ アンカーテンドンの種類は問わない。



スプリッツアンカーの概念図

評価結果	
------	--

- (1) 拡径ビットを用いて定着部を削孔する事で、大口径アンカー体が形成出来ることが確認された。
- (2) 大口径アンカー体による支圧抵抗が加わることで、一般的なアンカー工法に比べ、大きな引抜き抵抗力が得られることが確認された。
- (3) 従来のアンカー工法では適用できない土層においてアンカー工法が適用できることが確認された。
- (4) 従来のアンカー工法では適用できない背後に制約がある場所において、アンカー工法が適用できることが確認された。

水産公共関連民間技術 確認審査評価証授与式



評価証

第 15-A-001 号

【技術の分類と名称】
一般技術 スプリッツアンカー工法

1. 依頼者
法人の名称 日特建設株式会社
住 所 東京都中央区東日本橋3-10-6

2. 評価の前提
本技術の適用には、依頼者が推奨する方法で設計・施工されることを前提とする。

3. 評価の範囲
評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、施工実績の結果等により確認できる範囲とする。詳細は水産公共関連民間技術の確認審査・評価報告書第15-A-001号に示す。

4. 評価の結果
開発の趣旨、開発の目標等に照らし本技術の評価を行ったところ、結果は以下のとおりであった。

- (1) 鉋径ビットを用いて定着部を削孔する事で、大口径アンカー一体が形成出来ることが確認された。
- (2) 大口径アンカー一体による支圧抵抗が加わることで、一般的なアンカー工法に比べ、大きな引抜き抵抗力が得られることが確認された。
- (3) 従来のアンカー工法では適用できない土層においてアンカー工法が適用できることが確認された。
- (4) 従来のアンカー工法では適用できない背後に制約がある場所において、アンカー工法が適用できることが確認された。

一般社団法人 漁港漁場新技術研究会が定める水産公共関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。
なお、評価証の有効期限は5年間とする。

平成28年6月17日
一般社団法人 漁港漁場新技術研究会
会 長 橋 本 牧



技術の分類
一般技術

審査・評価番号
第15-A-001号

対象技術の名称
スプリッツアンカー工法

審査・評価依頼者
日特建設株式会社

平成28年6月
一般社団法人 漁港漁場新技術研究会